



秋田をこくる建設人

Vol.03

施工管理(土木)

松本 有香子さん(20代)

菊地建設(株)[由利本荘市]

キャリア 8年



努力した分
スミルアップにつながる
成長のスピードの
カギを握っているのは「自分」



現場代理人として働く松本有香子さんは、責任感が強く、ストイックな姿勢で自分の現場と向き合っている。常に何かを学びとろうとする向上心を持ち、「大きな現場の指揮を執ってみたい」と、まっすぐな目で話す彼女こそ、間違いなく次世代のリーダーだ。

仕事の「やりがい」は？

一番のやりがいは、自分が作った道路や構造物が形として残り、たくさんの人に利用してもらえることです。地元の道路工事だと、知り合いが「すこいね!」と言ってくれたり、工事中に「ありがとう」と声をかけて下さる方もいたりして、利用者の顔が見えるのも、励みになります。工事中は悩むことも、ストレスを感じることも多いですが、完成すると嘘みたいに忘れてしまいます。仕事を通じて自分の成長が感じられる瞬間がある点にも、やりがいを感じています。

仕事で大切にしていることは？

自分の意見をしっかり伝えるようにしています。オペレーターや作業員に指示を出す立場ではありますが、現場経験では皆さんのほうが私より先輩です。分からないことは聞いて、考え方が違う時はきちんと話し合う。工程が詰まってくると現場の雰囲気がピリピリしがちですが、そういう時こそしっかりコミュニケーションを取っています。自分の仕事で手一杯になると、周囲への気配りも難しくなります。思わぬミスや事故を防ぐためにも、余裕をもって現場を見ながら、良い雰囲気をつくるように心がけています。

今後の目標は？

規模の大きい現場で指揮を執ってみたいという目標を持っています。現在、高速道路の工事に現場技術員として携わっていますが、規模の大きい現場はあらゆる面でレベルが高く、貴重な経験をしています。天候によって予定通りに工事を進めることができない時、現場代理人が的確で無駄のない指示を出し、現場を動かしているのを見ると、私もこんな技術者になりたいと思います。そのためにも、皆さんの経験を積んで成長していかなければと思っています。

キャリアアップ

CAREER UP

2014年
建設業界へ

2017年(4年目)
菊地建設 入社

現在、1級土木施工管理技士の資格取得を目指している。

2019年(6年目)

2級土木施工管理技士 取得

現場を任せられるようになる。
*国道105号改良工事は、現場代理人として担当した2つ目の工事。

2021年(8年目)

1級土木施工管理技士補 取得

コロナに残っているプロジェクト

*国道105号改良工事
(2020年/秋田県)

国道105号の高上げ工事を担当。交差点が近く道幅も狭いうえ、現道工事のため24Hの片側交通規制が必要。現場代理人として特に安全管理に神経を使った。



松本 有香子さんの
もうひとつの
物語



大自然の中で楽しむアウトドア

「休日はアウトドアで過ごすことが多いかな」と話す松本さん。愛犬を連れてドライブを楽しんだり、気の合う仲間とキャンプや BBQ をしたりして過ごす。キャンプに行ったら、自分の持ち場に徹しています(笑)とのこと。キャンプでも自分の役割をしっかりとこなすのが、松本さんのルールだ。

